

卯月 愛南文芸

みなみうわ俳句会

百均の鏡もち坐す堂々と

川底の時止まりたり寒の鯉

春寒や豚汁の椀手に包み

花枇杷の香りかそけし路地続く

奥座敷明りを誘う水仙花

西海俳句会

長生きし孫の皆からお年玉

お年玉しゃぶってぽいっと初ひ孫

手を幹へ生きるを誓ふ花の下

おぼろ夜の三条四条とさまようは 吉田 弘定

檳榔子俳句会

針の手を休めてかざす春火鉢

雁首は祖父の形見や春火鉢

風二月春の女神は遅刻らし

如月や父の手作り卵焼

古笥きさらぎの水しぶかせり

父の手のふしくれ翳す春火鉢

大好きなじいじの胡坐春火鉢

みたらしの水あふらしむ初大師

春火桶煙管を愛でし人のこと 井上 論天

内海俳句会

啓蟄や地下百線に踏み迷う

百畳の閻魔吐き出す余寒かな

踏みゆけば砂丘は星の降りしきる

紅梅の散り敷く余香を踏みしめぬ 岩森十志子

清水 麗子

木村 智子

濱 初榮

中川千代子

竹村 勝利

吉田 笑代

利根早智江

吉田 勝也

吉田 弘定

三好ミキエ

吉田モミエ

山口 和子

田中 博子

五島 節子

山口 董

泉 くらら

濱野 康子

井上 論天

太田 信子

死亡後の手続きについては
町ホームページをご覧ください。



愛南町
ホームページ